

会議名称	第7回 政策会議
日 時	令和7年1月28日（火）午前・ 午後 4時30分～5時15分
場 所	2階会議室
出席者	町長、菅原副町長、宮崎副町長、教育長、統括監、総務課長、納税対策室長、住民環境課長、福祉医療課長、観光商工課長、観光商工課主幹、まちづくり新幹線課長、建設課長、総務課主幹

内 容	【審議事項1】 宿泊税充当事業について（観光商工課） （1）概要 ・令和7年度当初予算に係る宿泊税充当事業について審議する。 （2）結果 ・令和7年度宿泊税充当事業については、提案のあった23事業、全てを宿泊税充当対象事業とする。 ・ただし、最終的な充当額等については、予算査定で決定する。 ①「バスに乗ろう」発行事業 ②タクシー不足解決に向けたニセコモデル実証事業 ③町民向けタクシー確保事業 ④ニセコひらふ安全センター事業（臨時交番の運営） ⑤宿泊税啓発・徴収各種業務 ⑥宿泊税特別徴収義務者徴収奨励金 ⑦外国人患者通訳サービス事業補助金 ⑧集客観光イベント支援事業 ⑨ひらふ坂案内マップ更新 ⑩羊蹄山管理保全事業 ⑪観光施設維持管理事業 ⑫ひらふスキー場第1駐車場安全管理業務 ⑬ニセコひらふ地区シンボルゲート形成事業 ⑭観光パンフレット作成事業 ⑮倶知安観光協会事業補助金（地域DMO支援事業） ⑯ニセコアンヌプリ地区なだれ事故防止対策協議会負担金（なだれ・山岳事故防止対策事業） ⑰観光客対応情報発信事業補助金、ニセコ観光圏負担金（ニセコエリア観光客受入態勢整備事業） ⑱ニセコ HANAZONO リゾート連絡交通補助金 ⑲ニセコひらふエリアマネジメント交付金
-----	--

- ②⑩ひらふ地区ロードヒーティング事業（町道一部）
- ②⑪ひらふ地区ロードヒーティング事業（町道温泉郷線）
- ②⑫ひらふ地区ロードヒーティング事業（ひらふ坂歩道）
- ②⑬住居表示台帳図修正等業務委託事業

（３）主な意見・質疑・確認事項等

・町長）観光協会から参考意見としてあった、ゴンドラ坂及びさくら坂などの現状については、十分認識している。こういった安全対策が取れるのか、危険箇所をつぶしながら今後協議を進めていくことが必要である。また、これらの安全対策について、当然、宿泊税を使うことは妥当であると考えている。

調整会議で話されたように建設課が中心となって進めること。

・町長）駅前通りの歩道の雪対策については、駅前通りを中心に、住民や観光客に歩いてもらうことで、魅力的な町並みづくり、賑わいづくりを進めるという方針を打ち出していることから、必要な策を講じなければならないと考えている。

無電柱化に伴うロードヒーティング等の整備については、まちづくり新幹線課を中心に、建設課及び住民環境課などと連携を図りながら進めること。

整備工事が終わる間の雪対策については、建設課を中心にまちづくり新幹線課などと協力しながら、進めること。また、その後の維持管理については、建設課で担当すること。

・町長）ゴミステーションのゴミ処理への宿泊税充当について、まず、期間限定でこの地域に暮らしている方々は、悪意はなくてもゴミ処理について、十分理解していない部分もある。その事により、住民にとっては、多くのストレスを抱えているところであり、町内会などからも多くの声を頂いている。特に冬場は大きな問題となっている。観光振興とそこに住む人々の暮らしやすさが、相反するものであってはならないと考えている。この問題については、もう少し議論を深めながら、次年度以降の宿泊税充当も視野に入れて検討していく。

・観光課としては、この問題についてどのように考えているのか。

→・令和元年度に宿泊税を導入した当初は、幅広い名目に充当したということがあった。その際に、宿泊事業者からは、宿泊者への還元の見通しのしやすさなどの意見を頂いたことがあった。

新しい事業に宿泊税を充当していく際には、事業者への意見なども聞きながら進めていく必要があると考えている。

・今回、たまたまゴミの問題が出たが、観光振興、インバウンドが進むことで、町行政を運営していく中で、様々な分野で歪みが出てきている。そういった中で、一つ一つの部署でその問題を考えるのではなく、今後は、全庁的・横断的にオーバートーリズム的なものを整理し、対処していく必要があるのではないか。

（了）